



18. だれでもいつでもどこでも
スポーツできる環境づくり

(100) スポーツ施設の整備構想策定
(102) スポーツ振興ビジョン策定と
まちなかスポーツの振興

これまでは

- スポーツの振興は、奈良県が目指す健康長寿日本一を達成するための重要な施策です。
- ライフステージやライフスタイルに応じてスポーツができる機会や施設の整備が必要です。

スポーツ施設が充分でない奈良において次期国民体育大会の開催が迫り、スポーツ施設のあり方検討が必要となってきました。プロスポーツのための施設も充分ではありません。

現行のスポーツ推進計画(令和4年度まで)により、だれでもいつでもどこでもスポーツを楽しめる環境整備を目指してきました。

もっと良くするために

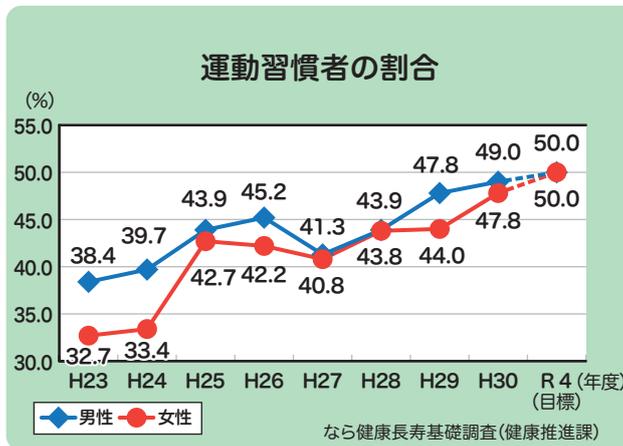
令和2年度中に、2030年奈良国体の主会場等にかかる整備基本計画を策定します。

スポーツ振興施策を体系化し、中長期的なビジョンを策定します。また、身近な公共スペース、公共・民間スポーツ施設の開放活用、新たなスポーツ施設の整備を通じて、まちなかスポーツ施設の整備を図ります。

目指す姿

令和4年度までに運動習慣者(1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上実施している人)の割合を50%以上に増やします。

スポーツをする人は徐々に増えているね。
ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西が連続開催されることから、スポーツへの関心は高まっているね。



奈良県では、2030年に国民体育大会が開催されるんです。盛り上がりを一過性のものとするのではなく、国民体育大会を契機にスポーツ施設を整備することで、将来的に、県民が、だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくりを目指します。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
(仮称)奈良県スポーツ振興ビジョンの策定・推進	(仮称)奈良県スポーツ振興ビジョン策定	● ビジョン策定	奈良県スポーツ推進計画の評価、策定
スポーツ拠点施設の整備・運営	スポーツ拠点施設整備基本計画策定	● 計画策定	スポーツ施設的设计・整備
総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進	総合型地域スポーツクラブ活動の質的充実に対する支援		
東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした国際交流の促進	国際競技大会の開催を契機とした交流の促進		

● 東京2020オリンピック・パラリンピック ● ワールドマスターズゲームズ2021関西